

## 指定ごみ袋導入説明会議事録

### 1 日 時

令和3年1月31日（日）午前10時から11時30分まで

### 2 場 所

南流山センター ホール

### 3 参 加 者

#### （1）特 別 職

井崎市長、石原副市長

#### （2）部 局 長

大島環境部長

#### （3）事 務 局（クリーンセンター）

小野所長・石田副所長・金子副所長・森田係長・横井主任主事  
島山主事・關口事務員

### 4 来場者数

38名

### 5 質疑回答

裏面のとおり

○市民

豊橋市と神戸市のプレゼンで数字の説明がありましたよね。基本的にゴミ袋の有料化は、私は大賛成なんですけども。指定袋を使った時に、なぜゴミが減るのか、その要因解析ってどういうふうに考えておられますか。

○市

豊橋市の場合は、以前は特に資源ゴミ、あとプラゴミというのを分別してなかったそうなんです。流山市の場合皆様のご協力によって資源物等も集団回収で出されておりますし、プラについても分別されてますが、他のものにプラゴミ等が大変混ざっていたり、あとやはり燃えるゴミの方にはかなり資源物が入っている。そういったもので豊橋市は今回、データとしても減っているということは聴いております。

あとあわせて、指定ゴミ袋、先ほど有料化とおっしゃったんですが、説明の中にあっただように、処理費用を乗せる有料化と袋を指定する指定袋があって、私ども指定袋ということでご理解ください。それで、この袋を導入することによって、ゴミについて、やっぱり市民の皆さんの意識や市の方からの発信と、導入するにあたって説明会を開いたり若しくはその袋を広報することによって、ゴミの士気が高まった、ゴミの排出抑制といいますか、できるだけゴミがない生活をするという意識改革にも繋がったものと考えています。

○市民

1点とおっしゃいましたけれども時間があるようなので、まず一つ、この中でいろいろと家計も大変なときにこの4月の導入なのかと。

2点目、私達ゴミを減量したいと思っても、今スーパーでは様々なラップや、買物をするそのもの、生活そのものにもゴミが発生するような社会の制度になっている。それをなぜ市民にだけ負担を求めるのか、企業に対してどのような協力を求めているのでしょうか。

3点目、試算そのものが私の実感とは全くかけ離れています。私自身はこんなにごみ袋にお金をかけていません。

4、ゴミの協力ということについて、もっと今の状況、そして、どういう状況なのかを市民に知らせたのでしょうか。そして、燃やすゴミの中に3割も包装のゴミが入っているそのことが、炉にどういう負担をしているのかと

いうことを市民にきちんと告知してるんでしょうか。そういう努力もなしに、市民に簡単に負担を強いるような、こういう行政があり得るんだろうかというふうに思います。

それから、先ほど、松戸市の袋だと収集しないって何でなんでしょうか。松戸市の袋であったって別に構わないじゃないですかということ。

それから先ほど豊橋市の部分で資料が十分に見えなかったんですが、豊橋は導入の前から減ってませんでしたか。そのところがどういう理由なのかということを知りたい。

それから、最後に、人口が増えたからごみがこのような状況になりましたとおっしゃいました。しかし、大規模なマンションをこれだけ許可をし、人口が増えるのは当然な状況、そして今、流山市のごみの容量がどのようなものなのか、炉の状況がどのようなものなのかということ、市は十分に理解しながらあれだけのマンションもどんどん許可をしている。この責任は何なんですか。そして、その結果、業者が儲けて、そして市民にばかりこうやって負担をする、おかしいじゃないですか。私たちはこうやって3種類とか2種類のごみを今度は買わなきゃいけないごみ袋。おかしいじゃないですか。私は、こういった負担ばかりを市民に負担をさせる。これには大反対です。

それから、ごみの減量というものはごみ袋の指定なくしてできます。それはきちんと市が市民に今の炉の現状をきちっと説明をし、みんなの協力をまずきちんとお願いをする。流山の市民はね、そういうことがきちっとわかれば自分たちでちゃんとできる、そういう市民だと私は確信してますよ。そしてね、そして、何かそういう努力をきちんとしているのか。私は非常にこの業者ばかりが儲けるような、この指定ごみの現状、大反対です。

○市

松戸市では松戸市、流山市では流山市、流山市の方が松戸市の袋を購入されて使ったとしてもそれが流山市の方が使ったのか、松戸市の方が使って、そこに排出されたのかわかりません。ですから他市についても、他市から出たごみについては、同様の注意を促しています。

○市

松戸市の袋ということで今副所長の方から説明があったんですが、今、残されたものに関して、クリーンセンターにご指摘がある場合がございます。

その場合には、松戸市をマジックで消して、流山市から出したとわかるようにして出していただけませんかということでご協力をお願いしているところです。ですから、今申し上げたように、松戸市の袋でそのまま置いた場合には残している。それに関して、ご指摘があった場合にそこを書き直してくださいということで、ご説明を申し上げます。

流山市民の場合、周知すればきちっと徹底できるということで、人口が増える割には、世帯当たりのごみの排出量は、相関して増えていないんですね。少し低めに出ています。そういう意味では、それから1世帯当たりの排出量は、少しですけども、減ってきています。そういうのは、流山市の多くの方が一生懸命分別をし、ごみの排出の減に協力していただいているということは事実でございます。

ただ、今回の説明会の中でもありましたが、先週のミーティングでもありましたけれども、自治会によってはですね、そういう方ばかりではなくて、自治会の役員や、集積所の管理をされてる方が大変苦勞されてる地域もございます。リサイクル、分別については、非常に残念ながら個人差があって、これ以上できない程やっていたりの方と、そうでない方あるいは言葉がわからない方いろいろいらっしゃいます。そのことによって、色や形で分けることによって、他市では分別、減量ができてきているということで流山市として提案させていただいたものです。

#### ○市

南流山地区でも自治会の方々、関係者からそういうご意見をいただいております。ですから今回導入する時に、集合住宅に住んでいらっしゃる方、あるいは特に言葉がまだ日本語でよくわからない方、そういった方々に、アパートの管理をする協会があるんですが、そういったところに流山市の方でできるだけそういう方々に、特に外国人の方に、きちんと言葉でわかるものをご説明して徹底して行って欲しいというご意見が、南流山だけではないんですけども、市内何ヶ所かから、自治会からあがってきています。そういったことについては徹底していきたいというふうに思います。

#### ○市

焼却施設のことについてご質問ありましたので、私の方から報告させていただきます。今流山市の方の、先ほどの、平成29年から令和元年度までの、

189、138トンを超えてる日数のお話があったと思うんですけど、先ほどの説明のとおり、令和元年度196日、138トン超えてるという日数が出たと思います。こういうふうにごみ量が増えていってしまいますと、どうしても点検整備、特に法で決められている点検整備の日数というのは、概ね四十日程度かかるんですね、その日数が確保できなくなってしまうというのが現状として出てきます。そういうことがありますので、ごみの減量をお願いしているところです。

#### ○市民

根本問題は人口が増えてたらごみは増大するの当たり前でしょ。それを焼却炉の処理能力の問題に関連して、人口が増えたらごみ出るのは当たり前なんだから、処理能力を増やすってのは当然でしょ。それを処理能力のせいにして、何か住民が問題あるような問題の立て方っていうのは、行政のあり方として住民本位じゃない。自分達が勝手に、物事を考えて、その後始末を住民に押し付けると。それから先ほどの豊橋市の例でも笑っちゃうで、あのデータ。リサイクルできるごみがされてなかったっていうこと。それでごみ減りますって、流山はちゃんとやってるじゃないですか。そういうデータ持ってきてごみ袋を使ったら、減るんですよなんてそんなことをね、データの偽造もいいところです。こんなことを住民に説明するっていうのは、自治体のあり方としてどうなんですか。おかしいじゃないですか。

それから松戸市のごみを、流山に持ってきたと。流山のごみ袋を使ったら松戸市のところに行かないの。袋を変えたら、ちゃんと分別するなんて、こんなことありえないじゃないですか、次々ね。つじつまの合わないことを、述べて、何か住民のところの問題をかぶせてくる。人口増えたら、税金だっけ流山にたくさん入ってきてるはずですよ。それを使って、ごみ問題が出たらその自治体として、それに対応するごみも対応したらいいじゃないですか。根本的に問題の立て方が違う。私はとっても怒ってます。説明が次々になってない。

#### ○市

まず、人口が増えたらごみが増えるのは当たり前、そしたら、どんどん能力を増やせばいいというご指摘もあったんですが、焼却施設を新しく建てるというのは大変な、また指定袋とは違った財政的な負担、あと圏域の皆さん

のご負担がありますので、その中で、安定して稼働して、何とかこの施設を延命化することで切り抜けることが一番、皆さんの税金を使って行政を行っていく上で適切と考えて、ご提案を申し上げたことです。

それから、いろいろご指摘いただいたところですが、指定袋で先ほど石田が申し上げたように、ちょっと長くなるので簡単に申し上げますと、指定袋によって、豊橋と同じ理由ではありませんが、神戸とも見て指定袋の前後でごみが減っていることは、傾向としては明らかです。指定袋の前後でごみが増えたという市町村は一つもございません。

#### ○市

先ほど、皆様からのご質問の中に、来年4月から、今年4月からというふうにとれるようなご質問があった、ご発言があったんですが、もともと申し上げましたように、来年4月からできるように準備をしているところです。

それから、今のご質問ですが、この冒頭の中でも説明いたしましたけども、流山市の燃えるごみの中に、プラごみといたりサイクルできるごみはかなり入っている。プラごみを含め、この燃やすごみに、入れてはいけないものが3割混入してるんですね。今日お集まりの方は皆さん分別していただいていると思いますが、市全体では残念ながらそういう状況です。ですから、これをプラごみと燃えるごみを指定袋にして、はっきり分けて、そして、他市でもあるようにプラごみができるだけリサイクルされるように、燃やすごみを少しでも減らすように、そういうことを徹底していきたいということで導入を提案しているところです。

#### ○市民

事業系のごみも一応対象ということでしょうか。来年4月1日からのスタートでよろしいでしょうか。あと1個提案があります。ペットボトルのキャップを市民センターとかに置いたほうがいいと思うんですけど。あとスーパーとかに置いた方が、逆に、効率がよいと思うんですけど皆さんどうでしょうか。

#### ○市

まずですね、事業系のごみについては、指定ごみ袋は関係ございません。ですから今、許可業者さんの方に依頼されているか、ご自身でクリーンセン

ターの方に持ち込まれているか、ちょっと存じませんが、今まで通り、もし持ち込まれるのであれば、透明もしくは半透明の袋であれば問題ありません。あとキャップ等についてはですね、それぞれの事業者の方で回収をして、やはりそういった発展途上の方のワクチンとかそういったものにされているというのは聞いております。

#### ○市民

私は実施ありきということで、このタウンミーティングをされているんですしたら、それは反対です。今、コロナ禍の中で、地球規模で、このコロナと戦っている中で、ここに参加すること自体、いろいろ、不安を感じながらも、参加も非常に少ないと思います。そういう中で市民、赤ちゃんからお年寄りに関わるすべてのごみの問題については、もっともっと市民の意見を聞いて、減量させるにはどうしたらいいか、そういう意味での方向性を、やっぱり作り出していくっていうそういう議論を大いにこれからしてって、いつ導入するというようなそういう計画については、今ストップをさせていただきたいというふうに思います。

それに、集積所の問題についての提案ですが、20万を超える市民ということでは、大変自慢をされてるようですが、もうごみ集積所がネットかなんかでかぶせてあるだけで、もう集積のたびにカラスがつついて町中にごみが散らかってるような状態は本当に恥ずかしいと思います。市として、やはりお金をかけてでも、集積所をきちんと整備して、もう子供の頃から、ゴミはこういうふうだね、整理してるんだなっていうような教育も含めて、住民が責任を持つ集積所じゃなくて、市としてね、やはりきちんとした集積所に、私は整備して欲しいというふうに思います。

#### ○市

今いただいた集積所の件ですが、やはりごみ集積所というのははっきり言って嫌われ施設です。ただ、毎日の生活には必ず必要不可欠なものです。市の方で、管理というのは今現在、およそ6000ヶ所近く、集積所はございます。先ほどの説明でも申した通り、皆様のご協力なくしてはできないもの、あとはごみ集積所の設置位置についても、いろんな方がご苦労されてると思うんですが、市が介入してここだっていうふうになりますと、やはり不公平感も出るなのでその辺については、使用者の中で決めていただいている。ど

うしても決まらない場合はいろんな地域でやってることなんですが、輪番制  
とって、使用されている方たちの、家の前に1年ごとに移動して設置して  
いるような状況です。

## ○市民

まず皆さんにご紹介したいものがあります。こちらが井崎さんの平成31年  
のマニフェストの公約があります。もう一つ、今年があります部長の仕事、  
これは私毎年毎年ずーっとコピーして自分で部長さんたちのミッションを調  
べておりますが、皆さん。驚いたことにごみ袋のごみ袋も入っていません  
ね。はっきり申し上げます。僕が言ってるのは先ほど言った、お母さんが言  
ったのがまさに正解なんですよ。ごみ袋でごみは減りません。僕が言いた  
いの、ごみ袋、市長よく聴いてくださいね。ごみ袋を導入する前に仕分けを  
するのを徹底してやるの、これが常識の常識。これですよ。トイレが臭い、  
トイレが臭い、臭いにおいは元から絶たなきゃ駄目という言葉があります  
よ。

で、市の方に聴きますけれど、男性の方ばかりなんだけど、女性の方も誰  
もいない。あなた達は、朝自分で起きてごみの仕分けをしたことありませ  
んか。あなたたち。僕はありますよ。僕はこまめにペットボトルキャップ、さ  
っきお兄さんが言ったね。ペットボトル、貯めると障害者に車椅子が、今は  
どうかわかんないからもらえとかね、何十万、みんな協力20万だから1人  
一本買ったらもう、毎年、車椅子買えますよ。

それと、あともう一つ、資源ごみ、さっき言いましたよね。燃えるごみ、  
燃えないごみ、仕分けすればそういうのできるし、クリーンセンターの整備  
がどうのこうの言う前に、保管場所をしっかりとやって、整備ができなかつ  
たらその間のところ、どっかの業者に頼んでやれば十分に点検整備ができ  
るんだ。そういうこともっと考えてやらなきゃ駄目なんだよ。

流山には調べましたら不測の事態に使える財政調整積立金とあります。皆  
さん幾らあるかわかる方。貯金、へそくりあるんですよ。45億円あるんです  
よ。今回のコロナなんかこの45億円一つも手つけてません。つまり何が言  
いたかったっていうとね。井崎さん。けちと儉約は違うんですよ。はっきり申  
し上げます。こういうことやるといろいろな方が不平、不満があるじゃないで  
すか。それと大島部長に言います。12月の議会で私は傍聴に来ました。録  
音テープであなたが言ったこと言いますよ。これからはいろんなことを、デ



一タを出します。で、あん時共産党の植田議員、植田さんかな、言いましたよ。やりますよ、客観的なデータお持ちでしたら、持ってないってじゃん。これから準備します。もうちゃんとうそ言いませんよ。頭は馬鹿だけど嘘は言いません。ね。ちゃんとした、今度、井崎さんもさっき言ったでしょ、こういうのがありますってそれは何。100人いたら何人の意見だとか具体的に。皆さんたちってね、本当に主観が多いの。客観とデータを元にしないと我々市民は信用できません。それと、今日の説明会の準備の不足。モニターにやってあったり、それはあなたたち優秀だからあなたたち。だけど僕たちは書類が欲しいんですよ。もっとそれをね、配慮する。大島部長に言うよ。あなた人に対して正しい説明をやるやるって言ってやってないんじゃないか。しっかりしろよ。

○市

どうもご指摘ありがとうございます。まず部長の仕事について、ちょっとそこについて至らなかったことについては私ども、4月に出しますので、はい。

それで、仕分けのことの重要性をご指摘いただいたので、私ども同じ考えです。ごみ袋がそういうことに全く寄与しないという意見については私ども違う考えを持っています。仕分けをするためのツールとしてごみ袋があって、ごみ袋で出すことによって、それを皆さんとどういう仕分けをしていくのかということ。袋と同時に私ども、周知のためにいろいろとご案内をさせていただきます。その中で、ごみについての仕分けができる、そういうふうに私ども考えています。

○市民

僕が言いたいのは統計を出せて。何%なんだよ、主観ばかりで駄目なの。こういう現状がありました。ごみ袋を増えたら、こういうふうな費用対効果がありました。豊橋と同じであるとか、映像だけじゃなくて、毎年ね、3%減りましたとか、そういうのがあれば我々も「おお、そうかなー。」と考えますよ。茶番ですよ。はっきり申し上げると。帰ります。ありがとうございました。

○市民

私、山口県の方からこちらに行きまして、本当に住み心地が流山市いいので、移転いたしました。で、ごみについてちょっとねいろいろ地方地方のやり方はあるからわかるんですが、先ほどの集積所の件なんですけどね。網をパーッと置いてね当番がある時、片付けるっていう、その間カラスが大変なんですよ。この辺がね、その場所場所によってはボックスがあったりしてるんですけど。その辺をどう考えられるかっていうことと、娘が住んでます大阪の吹田市はね。各戸別に全部収集なんです。だから、本当に自分が責任を持って出してるから、そういうトラブルが少ないんだと思います。そういうのが不可能なのかどうか。改めて、ちょっと考えました。よろしくお願ひします。

#### ○市

まずですね集積所、かごがあったりいろいろということなんです、それぞれ使用者のところでですね、そこを使用されている方がそれぞれお金を分け合っ出て出されてるところもありますし。あと、自分はこうのす台というところに住んでるんですが、ネットだけではやはりカラスにやられてしまうんですね。以前清美園というごみ焼却場がこうのす台にあって、大変近かったんでカラスが大変多かったですね。対策として、うちの方ブルーシートで今やってるんですね。ブルーシートですと、網の間からくちばしがつつけられないので、そういった形でやったりしております。

あとは戸別収集についてなんです、これ、確かに今おっしゃられた通り、それぞれ責任を持って出すということは大変その通りだと思います。ただですね、やはり収集時間がまず増えてしまいますし、長くなってしまふ。一番最初の地区もあれば、一番最後の地区もあります。最後の地区の方で掃除当番なんかされている方は、10分遅れても、こちらに苦情が来るんですね、用があるのに何で来ないの、なんていう話もありますし。

あとはやはりどうしても先ほど言った収集時間の長期化、あとは年末年始、あとは何か事故等での渋滞の発生、あとはやはり収集コスト等もありますので、今現在は、戸別収集ということは検討しておりません。

#### ○市民

関連事項なんで何点か確認なんです、まず今スクリーンに出てる燃やすごみの中の3割にある容器包装プラスチックはペットボトルの部分のことで

良いんですか。ちょっとこう容器包装プラスチック類と書かれるとですね、何のことかよくわからないんですけど、ペットボトルがその中の3割ぐらいあるっていう説明だったんでしょうか。

それとですね、最初の絵の中にも、人口の増加とごみの増加のグラフがあったんですが、ごみの量が27年から28年にかけて、少し下がったと思うんですよ。それって、何が要因でですね、そこ下がったのかって気になるところなんですね。

それとあとはそのごみを減量するんだっただけですね。今のスーパーなんかだと発泡スチロールなんかをですね。それからトレー、それから牛乳パックなんかですね、それぞれ収集してくれてる。スーパーなりコープさんなりあるんですね。で、流山市としてもですね、そういった発泡スチロールとか、トレー、そういった類のですね、燃やすごみとかそういう分類じゃなくてリサイクルにできないんでしょうかっていう質問なんですよ。

それと、あとすいません。最後なんですけど、今流山市なんですけど、若い方がどんどん増えてきているのは知ってるんですけど、単身世帯とかですね、2人世帯って結構あると思うんですよ。そうするとですね、週2回の燃やすごみの収集があってもですね、こんな20リットルも大きな袋って必要ないんですよ。極端なこと言うと、自分はちょっと2年ぐらい前まで父親と2人で生活してたんですよ。そうすると、5リットルの袋で十分なんですね。週2回、1回のごみを出す量としては、だから松戸なんか10リットルからっていうふうにあったと思うんですけど、できればその20リットルの下をですね、10とか、5とかですね、そういったサイズも、可能であるか考えていただきたいんですよ。

## ○市

まずですね、平成27年、ここだけぐんと上がってるんですけど、前の年がですね、大変量が多く出ている年で、本来これが同じぐらいの上昇率であればなだらかにいくはずだったんですけど、この年だけぐんと上がったことによって、次の年は元に戻ったような形になっちゃってるんですね。ですからここが、減ったというよりか前の年が増えたというふうに考えております。

あとはですね、燃やすごみ62%のうちの3割ほどプラごみが入ってるという説明をしましたが、それについてはペットボトルも多分入ってると思います。ただ、3割のうちの容器包装プラスチック、プラマークがついているも

の、これについてやはり今後ですね、きっちり分別をして、プラの方に出すことによって、リサイクル率の向上っていうのがあると考えております。

あと、袋の大きさですね、これについては先ほど申した通り今回市民の皆様のご意見を聴いて、仕様書の方についてという検討事項となっておりますので、今後検討させていただきたいと思っております。

容器包装プラスチックとは何かというご質問が最初にあったかと思えます。これ大変いい質問だと思います。ありがとうございます。ていうのは、プラスチックと容器包装プラスチック、ペットボトル、なかなか区別が付きづらいと思うんですが、容器包装プラスチックというのは、石田が申し上げた通り、売るときに、食品ですとか、物を包むために使ったプラスチックのことで、これについては、業界団体が再生のための資金を提供して、別途集めさせていただいている。ペットボトルと一緒にですかという質問については、ペットボトルとは別で、先ほどの5つのごみの中にもペットボトルと容器包装プラスチックは別々になっていて、今回指定袋を容器包装プラスチックに定めるというのは、そこら辺を明確にするという趣旨で、効果があるかどうかと思えます。

#### ○市

お惣菜なんかで使われてるトレーですよ。はい。それについては一応ですね、表示の中にはラップでですかね。物がこぼれないようになってるんですが、そこに一応プラマークがついてまして。もし市の方に出す場合は容器包装プラスチックの方に出していただいて、やはりリサイクルをして、再利用という形になりますが、市民の皆様のご協力で、綺麗にして牛乳のパックとか、あとはそういったトレーについてはお店の方に出していただいて、協力はいただいております。はい。ですから市の方から皆様にそういった仕事をしてくださいというアナウンスはしてませんが、資源化という面では協力していただいていると思っております。

あとこの、26年に減ったというよりか27年に増えたと言ったんですが、これ増えた理由は本当にわかりません。27年に増えて、28年で減ったふうに見えるんですが、27年でこれだけ増えたって理由はわかりません。

#### ○市民

先ほどリサイクルするプラスチックの話があったんですが、私は友人から以前、クリーンセンターの見学に行った時に、油だとかで汚れたプラスチッ

クに関しては、生ごみで捨てていいよって言うふうに言われたと。だから、あなたもそうしてるのって聞かれたことがあるんですよ。私駄目なんじゃないのって言うのを、ちゃんとクリーンセンターの人に言われたから大丈夫よって言われて、今聞いているとリサイクルがという話で、そのところがいつどう変わったのか私はわからないんですけど、そういうふうに例えば私の友達が私に話してるってことは、また別の人に話をしているかもしれない。どんどんそういうのが広がっていくと、さっきの3割じゃないんですけどそうな可能性がある。でもそういうところに関して、広報というのとはされてるんですか。

私自身も、広報を見て間違っていたというのなら納得できるんですけど、汚れたのは多少洗ってべたべたなのを石鹸つけてまで洗ってというのは、そうするとじゃあこれは生ゴミで捨ててしまおうという考えで捨ててしまうんですけど、そのところが違うのであればぜひ教えていただきたいし、広報にね、私の友達にはもう、はっきりと、あなた違ってわよって言われてしまったので、あなたそれ違うよって言われちゃったのでそういうところの広報って言うのの正しいのかどうかっていうのを教えていただきたいです。

## ○市

はい。ご質問ありがとうございます。まずですね、結果から申しますと、燃やすごみではございません。はい。で、皆様に毎回、毎年ではないんですが家庭ごみの正しい分け方・出し方というパンフレットを、自治会さんを介して協力をいただいて配布しているのと、ない方については公共施設には置いてあるのもらっていただくんですが、まず汚れた容器についてはできる限り落としてくださいというお願いです。ですから、わざわざ石鹸つけてまでだとかやってくれというわけではございません。先日ちょっと聞いたのがペットボトルに入ってる油、あれなんかも落とすきれないですよ。それについて燃やさないごみ※の方に出してくださいというアナウンスしてます。あとは今言われた広報ですが、周知については足りない部分、今後そういったことについても、さらなる周知を図っていきたいと思います。よろしくをお願いします。

(注釈)

本議事録公開時点での最新の情報は以下のとおりとなります。

※燃やさないごみ→容器包装プラスチック類

## ○市民

駒木から来ました。なぜ駒木から来たかといいますと、昨日のおおたかの森の説明会も出ています。基本的に私も指定袋によってごみを減量化するのではなくて、市民の自覚によってごみの減量化をするのが正しいんでないかという立場で、今の皆さんと同じ立場で、昨日発言してるんですけども、皆さんおっしゃるように都合のいいデータだけ出すんじゃなくて、流山市が他の千葉県内の指定袋を決めてやってる都市よりも、指定袋がない流山市がいかに減量化に成功しているか。そのデータで市民に知らせるべきじゃないかということで、そのデータも示しましたところ、ちょっと長い発言に昨日もなってしまうんですけども、言い足りないことがあったんで、ただ今日一点だけ質問と、事実の確認で今おっしゃったこととちょっと関連があるんでそれを取り上げたんですけども。

燃えるごみの中でそんなに占めるというそのプラスチックごみですよ。これがどうもかなりこの大きな理由として、石田さん、副所長さんあげていらっしゃるんで、これについての考え方について、もう一度確認したかったんですけども。

まず、私は3割という数字。都合のいい数字ではないかなと。つまり3割というのはどういうことか。すべての袋を開けてみて、燃えるごみ7割燃えないごみ3割だったのか、プラスチック3割だったのか。10袋の中で、7袋は全部燃えるごみ、3袋はプラスチックごみ。後者の問題であれば、その前の問題ですよ。指定袋の問題ではなくなると思うんですよ、違った曜日に出したから。燃えるごみについては私は収集していったら、破袋せず、要するに袋を開けずに、そのまま燃やしてしまうと思ってたんですけども、果たしてそのある日、いつの3割っていうデータなのか。どういう調査をした結果、3割だったかのかというのが一つです。

あともう一つは、今の高性能な炉に変わったときですね。要するに、昔の炉は非常に古い型で、例えば、燃焼温度が600度程度でしか耐えられないと。つまりプラスチックごみを燃やすと800度程度の熱が出てしまうので壊れてしまうと。だから分別してくださいということだったんですよ。で、今新型炉になってると東京都なんかもそうですけれども、東京都はプラを燃やしてますよね。なぜかっていうと、要するに、いわゆる家庭ごみ、濡れたごみだけ燃焼炉に放り込んでも、自分だけでは燃えられないわけですよ。つ

まりガスなり、石油なりも補助燃料として入れないと燃えない。つまり新型炉になったということによって、プラスチックごみを一定量混ぜて燃やすと、何の補助燃料もいらずに燃えると、要するに昔はもうダイオキシンとか、公害問題でプラは燃やさないってことだったんですけども、今は一定量補助燃料として燃やす方が正しいと、新型炉になった当時そう聞いた部分があるんですよ。それで、先ほどの関連で、プラごみを破袋して、再生に適さないっていうごみについては、今現在どうしているんですか。燃やさないごみとして燃やさないのか、あるいは燃やすごみの方に回しているんじゃないですか、補助燃料として。そういう処理をしてるのであれば、洗っても落ちない、あるいはレンジにかけたら油まみれになって汚れる容器がありますよね。そういうものは、もう折り込みとして昔聞いた知識で燃えるごみとして出した方がいいんじゃないのということでやっている。洗えば、水道水を使えばそこでCO2が発生するし、下水の処理の負担がかかるし、事実として、この3割を本当に減らしたいのか、減らしたいというのは、本当なんですか。実際プラで出してもらおうとありがたいと思ってるんじゃないですか。というふうに、思ってるんですよ。事実として、それを減らしたいのかどうか、今日は質問だけにしときます。以上です。

#### ○市

今のご質問の3割の根拠がまず一つだと思うんですけど、毎月行っております燃やすごみの中の組成分析というのをやっています。その組成分析の中で、先ほど説明の中にもありましたが、すべてのものとは言いませんが、容器包装プラスチックのものがあったりとか、ペットボトルの一部があたりとかっていう形で、プラスチック類が3割入ってるという分析結果が出てます。

それと、先ほどの、今のご発言の中で一つだけ訂正をさせていただきます。今の焼却炉の前の清美園にあったところの焼却炉ですね、今の焼却炉もそうですが、ごみというものは、下から200度以上の空気を吹き込みますので、空気の力を使って、燃えることができますので、基本的には助燃剤、灯油ですとか、ガスですとかそういうものは使わない方向で動いてます。それとダイオキシンが発生するのは、概ね600度ぐらいまでの温度で発生します。そのことがありますのでダイオキシン特別措置法の中で、800度以上で温度を上げて、ごみを燃やしなさい、燃やしたことの熱によってダイオキシンは分解

されますということで、今現在、1,200度を管理するようにしています。清美園の時には、800度以上の温度を管理して、ダイオキシンを発生しないよう分解するように管理をしてました。ですので、灯油ですとか、プラだとか、そういうものがあるじゃないかというお話ですけど、やむを得ず減容化という意味合いでプラを燃やしてることはあります。ただし、今回の指定ごみ袋の考え方は、燃やすごみの中にまだ再利用できるものがありますと、そのことを減らしたいということで、袋を指定して燃やすごみの量を減らしたいという考えで今回進めています。ありがたいですかということについては、環境負荷の考え方をしますと、燃やしたくないです。ただし、油まみれになっているとか、そういうものについては、やむを得ず燃やしています。

#### ○市民

袋の大きさですよ。あれは松戸だと思えるんですけども、全部あの通りの大きさになるんでしょうかということと、それから一応値段ですよ。はい。それをお聞きしたかったんで。

#### ○市

まずですね、こちらが柏市さんの指定ごみ袋で可燃ごみの、小になります。こちらの黄色いのが容器包装プラスチックでやはり小ですね。一応、大きさがこちらだと、20リットルですね。こちらが松戸市の燃やせるごみで中、大きさほぼ一緒です。こちらが柏市の可燃ごみ、中、容器包装プラスチックの中、あとは、松戸市の大とこちらがですね、30リットルですね。こちらが松戸市の45リットルになります。大きさについては、先ほども申した通り、今後検討事項として、いろいろな方、市民の方の意見を聞きながら、仕様の方に盛り込めればなと思っております。価格、柏市さんの場合一番大きい袋での価格になってしまうんですが、1枚当たり10円。あとは松戸市については45リットルで1枚当たり9円。となっております。これは先ほど申した通り市内の10店舗にうちの職員が行きまして、特に市境なんかですと柏市さんの袋、松戸市さんの袋なんか置いてありますので、すべてそういったものを調査した結果になります。今回いろんな方、先ほども小さい袋の方がいいという方もいらっしゃるんで、これについては検討事項として考えていきます。



## ○市民

市の説明会とか、パブリックコメントとか、いろいろそういうことをやってきて、市民の方の中にも賛成って言う人もいるし、反対って言う人もいるし。この導入については、どういう状況になったら、現状維持、あるいは実施と、ある程度市の考えがあるんでしょうか。というのは、確かに、このことによってお金がかかると袋を買うということを非常に負担に思っている人もいるし、あるいはそうじゃない人もいるかもしれない。しかし、その負担をかけないということであれば、現状維持でどうやっていろいろ問題が起こっていることを改善できるのかということをもまず考えた方が、解決していくのではないのかなど、いうふうに思うんですよね。だから、どうしても指定ごみ袋を導入しなければできないのかどうか、角度を変えて考えてみたほうがいいように思います。それから私も流山に来て24年過ぎましたけれども、私の家の前が一貫してごみ集積所なんです。カラスの問題もあるし、風が吹くとごみが散らかるといった問題だとか、あるいは回収業者が混合ごみを置いていってしまうとかって言うのもあるし、車で通りすがりに捨てていく場合もある。それを自分らが一生懸命掃除をしたり分別したりということで、ごみ集積所に対する努力は非常に住民はやっているということを、市の担当の方々には押さえていただきたいというふうに思うんですよね。そういう意味で、必ずしも実施ありきじゃなくて、もう少し角度を変えて考えていただきたいというふうに思います。

## ○市

集積所の管理、日々、本当にありがとうございます。そういったものもありますので、通りすがりの方とか、あとは知らない方等もいらっしゃいますので、今現在自治会さんもしくは使用者の方が改めて分別をして出しているような状況、皆様のご協力の上で成り立っております。あとはですね、集積所の方に、例えば本来出してはいけないようなごみ、粗大ごみやそういったものについては、クリーンセンターの方にぜひご連絡ください。そうしましたら、一応2週間だけ、そこを使用されてる方たちにはご迷惑なんですけど、置かせていただいています。なぜかという、すぐに回収してしまうと、また、そういったものを出す方がやっぱり何でも出せば、持ってってくれるんだというふうに認識されるのは困りますので、2週間ほど置かせてもらって、うちの方で回収に行きますので、もしそういったことがあ

った場合は、ご連絡いただきたいのと、あとうちの方で看板等の注意書きも作っておりますので、ぜひ一度クリーンセンターの方にご相談いただければと思います。

#### ○市

実施については、先ほど市長も予定ということで申し上げましたが、来年4月にできるように説明会をして、この後、広報ですとかインターネットで説明させていただきたいというふうに思っております。ですから、ありきじゃないかとはおっしゃるんですが、こういうふうにしていくということに関してパブリックコメントをかけて、説明会をして、この後、広報ですとか、出前講座ですとか、説明を尽くしていくつもりでございます。

#### ○市民

以前に流山市の指定ごみ袋の時期がありましたけども、それが取り止めになった理由を教えてください。経緯を。

#### ○市

確かに以前平成15年まで、指定ごみ袋を使ってました。それは焼却施設の性能の関係で、炭酸カルシウム入りの袋ではないと燃やしたときに出てくる排ガスの問題がありました。今やめた理由につきましては、平成16年から稼働した今の施設で排ガス処理施設の方は、湿式という性能のいい形になりましたので、普通の袋に変わっております。

#### ○市民

燃えるごみの中の3割がプラだということなんですが、これは重量比、重量単位ですかね。だとすれば、60%ぐらいの3割ということは18%になるんで、さっきプラで出たのが5.何%だったってことになりますよね。とんでもない量が入ってることでありますよね。で、申し上げたいのは、やはり一番大事なのは、そういうものをきちっと分別をするということをね、やっぱり徹底するってことが一番大事なんじゃないかと思ってるんですね。以前、私の自治会でも、市の人が出て、ごみの分別の仕方の説明会をやったりしてましたけども、今このごみのごみ袋の説明会やってますけどね、それだけではなくてやはり、なぜそうなってるのかっていう。皆さん納得してないのは

そういうことだと思うんですよ。ですから、分別のことをまず徹底するっていうことをね、説明会の中で十分やって、その上でですね、このごみ袋の問題に入るべきなんじゃないかと私は思います。

○市

3割につきましては、重量比ということになりますので、ご指摘のありました通り、大変な量が入っていることになります。

また袋の導入よりまず先にやることがあるんじゃないかというご質問だと思いますけども、市といたしましては、その辺も、広報活動は、今後も進めていかなければいけないものと考えておりますが、今回のごみ袋導入につきましては、ごみを分別するためのツールとして、皆様に使っていただければなというふうに考えております。ですから、ごみ袋だけで分別ができるというようなことは、決して考えておりませんので、今後とも市の方から、広報活動を行っていくことを考えております。